地いきの安全を守るはたらき

5 火事から地いきの安全を守る①

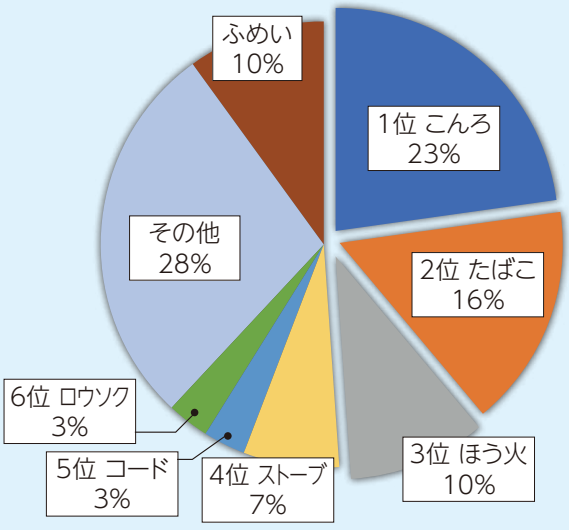
●火事がおきたら●

めあて

火事がおきると，どうなるか考え，学習問題を立てよう。

①火事の現場の写真

すごい ほのおと けむりです。私たちがくらしている，東京都や調布市でも，多くの火事がおきています。なぜ火事はおきてしまうのでしょうか。火事がおきるとわたしたちのくらしはどうなってしまうのでしょうか。話し合ってみましょう。



②家の火事のげんいんのグラフ（平成 29 年）

	東京都	調布市
火さいの数	3970 件	49 件
けがをした人	798 人	10 人
なくなった人	87 人	3 人

③家の火事のひがいの表（平成 30 年）

火事は，わたしたちから多くのものをうばってしまうおそろしいものです。家や財産，思い出がつまった物，そして人間の命など，大切なものをうばってしまうのです。

	全焼	半焼	部分焼	ぼや
数	2	8	20	70
燃え方	建物のほとんどが燃え，建物はもう使えない火事。	全焼ほど燃えず，建物は直せば使える火事。	ぼやよりは燃えたはんいが多いが，小さな火事。	建物にはほとんどひがいがない火事。
イメージ				

④火事のひがいの仲間分けの表（住宅火災全体を１００としたときの数）

火事についてさらにくわしく調べると，火事がおきても，家のすべてが燃えてしまうことは，少ないことに気づきました。きっと，だれかが早く火を消し，火事が大きくなるのを防いでくれているからだと考えました。

世の中でおきている火事全体から見ると，建物のほとんどが燃えてしまう大きな火事になることは，少なくすんでいるということね。

学習問題

火事から人々の安全を守るために，どのような人たちが，どのようなことをしているのだろう。

●消防署の人たちのしごと●

めあて

消防署の人たちは，どのような仕事をしているのか調べよう。

火事のひがいを小さくしているのは，消防署の人たちだと考えました。そこで，消防署に見学に行って，消防署の人たちがどのような仕事をしているか調べることにしました。見学に行く前に，何を見てくるか決めたり，質問したいことを考えたりしましょう。

消防署の人の話

私たちは，24時間365日，いつでも出場できるように交代で働いています。火事のない時は，消防車の点検や，消火や救助の訓練をしています。トレーニングをして体をきたえたり，パトロールをしたり，市民に防火の指導をしたりすることも大切な仕事です。

火事の現場では，命がけです。消防署の仲間はもちろん，消防団など，様々な人たちと協力しながら消火活動にあたっています。大変な仕事ですが，地域の安全と安心を守る大切な仕事なので，とてもやりがいがあります。

防火服には，消火活動をしたり，身を守ったりするために役に立つ，いろいろな工夫がされているのね。

8時	ひきつぎ（仕事始め）	火災があれば出場
9時		
10時	消防車の点検	
11時	事務，調査 など	
12時	休けい	
13時		
14時	消防訓練，トレーニング	
15時	消防施設の検査	
16時	事務，調査 など	
17時	休けい	
18時		
19時	消防車の点検	
20時	打ち合わせ　など	

21時	消防車の点検	火災があれば出場
22時	打ち合わせ　など	
23時		
0時		
1時		
2時	作業服のまま	
3時	交代で休む（仮眠）	
4時		
5時		
6時		
7時	起きる	
8時	消防訓練，事務　など	
9時	ひきつぎ（仕事終わり）	

①消防士の１日をまとめた表

消防署の方が，「様々な人たちと協力しながら消火活動にあたっています。」と言っていたことが気になりました。どんな人たちが，どのように協力しているのか，調べることにしました。

●火事がおきたときたときにかかわる人びと●

めあて

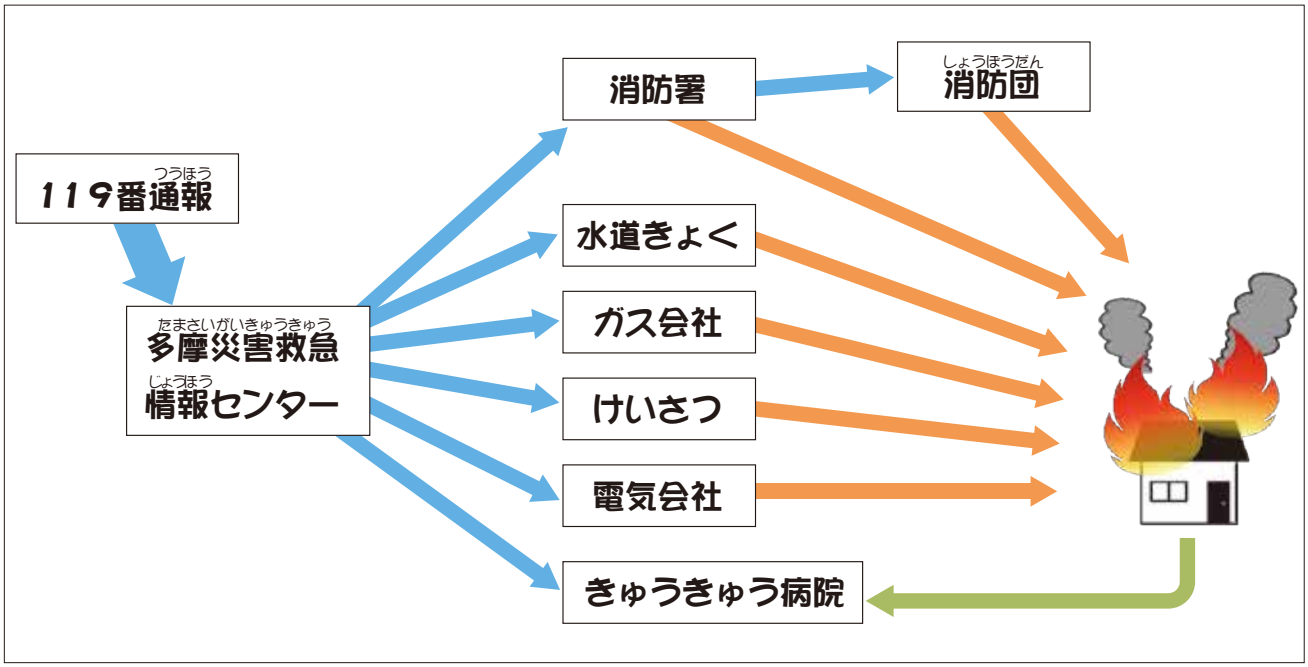
火事になったら，どのような人が，どのような仕組(しく)みでかけつけるのか調べよう。

下のイラストは，火事を消すときにかかわる人たちです。どのような人が，何をしているか考えてみましょう。

◎活動をしている人

〔　　〕〔　　〕〔　　〕

〔　　〕〔　　〕〔　　〕



①１１９番通報の仕組みの図

資料１　多摩災害救急情報センター

調布市でかけられた 119 番通報は，近くの消防署につながるのではなく，立川市にある「多摩災害救急情報センター」につながります。通報を受けた多摩災害救急情報センターは，火事が起きている近くの消防署や水道きょく，ガス会社，病院など様々な機関に指令を出します。そうすることで，それぞれの機関がしっかりと役割を果たし，協力することで，早く，確実に消火活動に取り組めるのです。

資料２　大きな火事が起きた時

大きな火事が起きた時は，たくさんの消防車が必要です。そこで，調布市のまわりの市や区からも消防車が来ることがあります。地域をこえて，消防署どうしも協力しながら，消火活動にあたっているのです。

●消防団の人たちのしごと●

めあて

消防団の人たちは，どのような仕事をしているのか調べよう。

「１１９番通ほうのしくみ」の中に「消防団」がありました。消防署と，どのようにちがうのでしょうか。消防団について調べてみましょう。

消防団の人の話

わたしたちの仕事は，自分たちのまちを火事のきけんから守ることです。そのために，自分の仕事をしながら消防団の活動をしています。ふだんから消火くんれんや防火のよびかけをしています。また，火事があると消防署から無線で連らくがきて，わたしたち消防団も出場します。地いきのことをよく知っているので，お年よりの方などを助けることができます。

①消防団の車庫

②消防団のくんれん

③せつびの点検 1

④せつびの点検 2

よし！しっかりエンジンがかかるな。火事にそなえて，いつでも使えるようにしておこう。

①消防署員と消防団員の住んでいる場所と仕事

	消防署員	消防団員
住んでいる場所	さまざまな場しょ	その地いき
ふだんの仕事	消防士	会社員，店員，大工　など

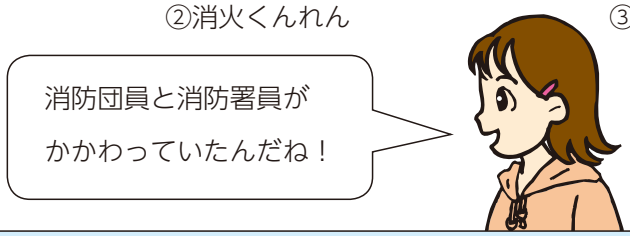
火事が起きた時，消防団も消火活動をします。また状況によっては，交通整理をしたり，夜間の消火活動時に辺りを明るくしたりすることもあります。

地域防災訓練のようす

①けむり体験

②消火くんれん

③消火体験



②消防団の海老澤さんの１日（消防団の訓練がある日）

午前７時		午前８時～午後７時		午後８時～１０時		１２時
おきる		仕事（JA）		消防団の訓練		ねる

消防団のねがい

みんなのまちにも消防団員は必ずいます。消防団がまちの安全を守る役割を果たしていることをもっと知ってほしいです。わたしたちのモットーは，「自分たちのまちは，自分たちが守る。」です。ぜひ，みんなも同じ気持ちでいてほしいと思います。

●地いきの消防しせつ●

めあて

わたしたちの地いきの消防しせつを調べよう。

登下校の時などに，通学路や家のまわりにどんな消防しせつがあるか見つけてみましょう。

①消火せん

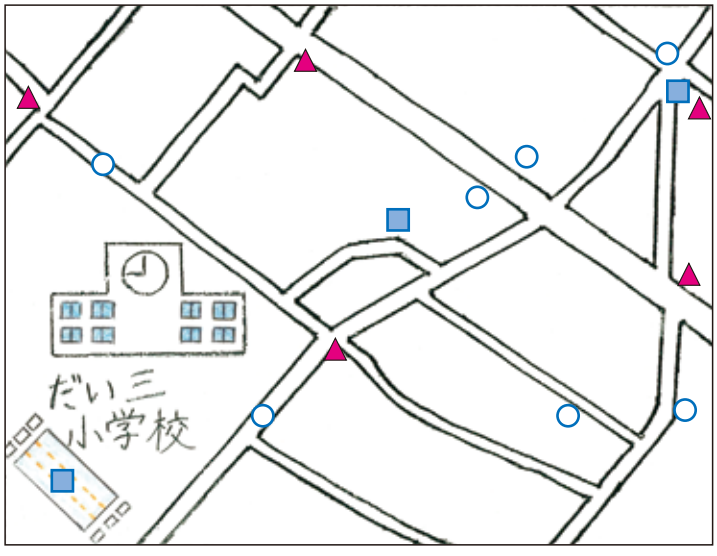
②防火水そう

③消火き

消防しせつのある場所

消火せんは，いろいろな状況を考えた上で，100 m～200 m間かくで設置されています。実は，ポンプ車のホースの長さと関係しています。

その他の消火きや防火水そうなどの消ぼうしせつも，計画的に設置されています。



○ 消火せん等
□ 防火水そう等
△ 消火き

④消火せんと防火水そう位置（東京消防庁ホームページより引用）

●学校の消防せつび●

めあて

学校にある消防せつびを調べよう。

消火きなどの消防せつびは学校にもあります。どこに，どんなものがあるか調べてみましょう。

①受信機

③消火せん

④消火き

⑥熱感知き

②防火とびら

⑤プール

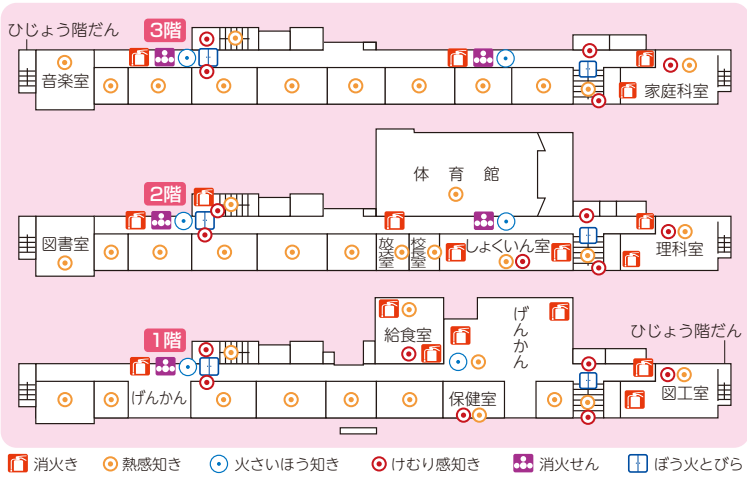
⑦けむり感知き

副校長先生の話

定期的にせつびの点検をしたり，毎月ひなん訓練をしたりして，学校全体で火事にそなえています。

また，それぞれのせつびは計画的に配置してあります。火事が起きた時にすぐ知ることができるように，また火が小さいうちなら消火できるように配置されています。

学校の消防せつびを校舎図に表したもの

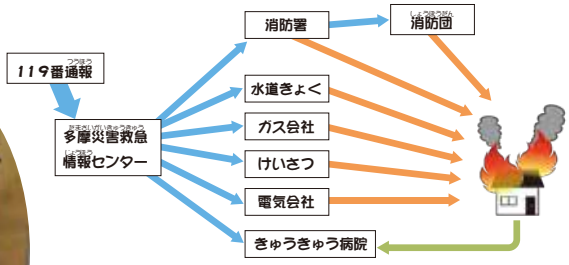


●学習のまとめ●

めあて

学んできたことをまとめよう

火事からわたしたちの安全を守るくふうについてくわしく調べてきました。今まで学んできたことをふりかえって，学習問題の答えについて話し合いましょう。



単元のまとめ

とてもこわい火事からわたしたちを守るために，消防署を中心としたいろいろな機関が協力しながら，す早く消火できるようにつとめている。また，消防署や消防団などの地いきの人びとが，防火のために日ごろからしせつやせつびを整えたり，訓練したり，防火のよびかけをしたりしている。

新聞のまとめ方

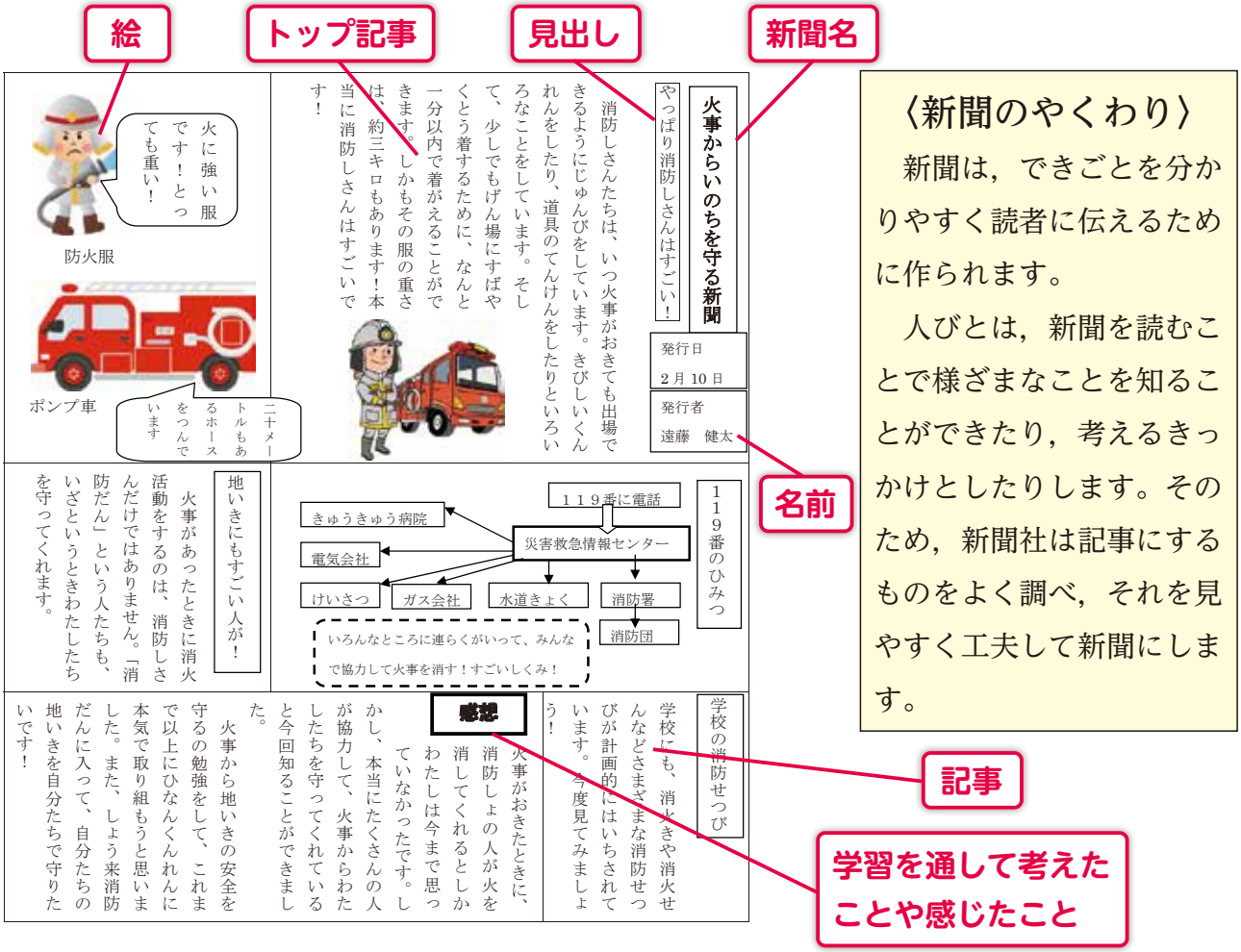
社会科のまど

・調べてわかったことと，自分で考えたことをそれぞれくべつして書こう。

・見出しは，ないようがわかるような言葉(ば)を選(えら)ぼう。

・字だけでなく，絵もかいて見やすくしよう。

・読む人にわかる言葉で書こう。



〈新聞のやくわり〉

新聞は，できごとを分かりやすく読者に伝えるために作られます。

人びとは，新聞を読むことで様ざまなことを知ることができたり，考えるきっかけとしたりします。そのため，新聞社は記事にするものをよく調べ，それを見やすく工夫して新聞にします。

ドロンパクイズ

調布市の消防署員と消防団員は，どちらが多いでしょう。